Breeze
YFA News

▶スコアボード◀

8月2日・3日
ビーチサッカー　金沢　海の公園
9月7日～
第57回横浜国際チビッ子サッカー大会　市内各グランド
9月14日
第33回カトレア杯少女サッカー大会　谷本公園
10月25日or 26日
日朝親善サッカー大会　三ツ沢公園

発行　一般社団法人横浜サッカー協会
編集　同　広報委員会
〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-6-3
DSM新横浜7F
TEL(045)474-4315　FAX474-4316
https://www.yokohama-fa.or.jp
印刷　神奈川新聞社
〒231-8445　横浜市中区
太田町2-23
TEL227-0739　FAX227-0785

第52回春季少年サッカー大会

準優勝　U12　JFC FUTURO
優勝　U10　あざみ野FC
優勝　U8　横浜すみれSC
準優勝　少女の部　横浜ウインズ

第52回横浜市春季少年サッカー大会（兼JAFU12・U10リーグ）は、ブロック分け抽選を行い市内各会場にて4月末より各カテゴリーの予選リーグが行われた。U8、U10は各ブロック2位までが決勝トーナメントに出場。また、U12は県TOPリーグ参戦チーム、各ブロック1位が決勝トーナメントに出場した。

少女の部は参加13チームが2ブロックに分かれて市内各会場にて予選リーグを行い、各ブロック上位2チームが決勝トーナメントへ進む大会方式、6月22日全カテゴリーしんよこフットボールパークにて決勝戦、三位決定戦が行われた。

U12・U10はトーナメント6位までが神奈川県チャンピオンシップに出場権が与えられ、U12は県チャンピオンシップ3位までは関東大会出場に推薦される。

大会結果

【少女の部】
決勝戦
横浜ウインズ　1－1（PK2－1）SHG
3位決定戦
SCH・FC　2－0　JFC FUTURO

【U10チャンピオンシップ出場権】
六浦毎日SSS　田奈SC

【U12】
決勝戦
JFC FUTURO　1－0　あざみ野FC
3位決定戦
バディーSC　5－0　横浜Fマリノスプライド

【U12チャンピオンシップ出場権】
しらとり台FC　横浜すみれSC

【U10】
決勝戦
あざみ野FC　1－0　横浜すみれSC
3位決定戦
SCH・FC　1－0　あざみ野FC

【U8】
決勝戦
横浜すみれSC　1－1（PK2－1）バディーSC
3位決定戦
駒林SCローザ　2－0　横浜かもめSCLUNA

【U12】
決勝戦
JFC FUTURO　1－0　あざみ野FC
3位決定戦
バディーSC　5－0　横浜Fマリノスプライド

【U10】
決勝戦
あざみ野FC　1－0　横浜すみれSC
3位決定戦
SCH・FC　2－0　JFC FUTURO

【U10チャンピオンシップ出場権】
六浦毎日SSS　田奈SC

【U12】
決勝戦
JFC FUTURO　1－0　あざみ野FC
3位決定戦
バディーSC　5－0　横浜Fマリノスプライド

【U12チャンピオンシップ出場権】
しらとり台FC　横浜すみれSC

U12　JFC FUTURO

U10　あざみ野FC

U８　横浜すみれSC

少女の部　横浜ウインズ

前を向き続ける
JFC FUTURO　岡本　光堯

キャプテンとして心掛けたことは、何があっても最後まであきらめずに戦う気持ちをもとうとみんなに声を掛けたことです。その気持ちをみんなが意識したことで、優勝することができたと思います。

一番印象に残っているのは、準決勝のバディー戦です。先制点を決められましたが、下を向かず、前を向き続けたことでチャンスがうまれて、同点弾を決めることができたからです。

市長杯に続き春季大会も優勝できてとてもうれしかったです。次の県大会、関東大会でも優勝できるようにチーム全員でがんばりたいとおもいます。

チームを一つに…
あざみ野FC　荒井　大覇

①印象に残った試合・プレー

僕が印象に残った試合は『すみれ戦』です。2年前の市大会では負けていたので、今回は絶対に勝ちたいという強い気持ちがありました。先制点を取り、みんなで声を出し合い、一つになり勝つ事が出来ました。

②キャプテンとして心掛けたこと

キャプテンとして心掛けたことは、声を出し、チームを一つにまとめる事です。味方がミスをした時はカバーし、声で味方を元気づけさせて、チームを勝利にみちびきました。

③優勝のよろこびの声

優勝した時はとてもうれしかったです。チームが一つにまとまり、勝ったしゅんかんはやり切ったという気持ちになりました。秋の横浜国際チビッ子サッカー大会でも全チームに勝ち、必ず優勝します。

優勝に導かせる
横浜ウインズ　阿部　しずく

今年度の春季大会、横浜ウインズを優勝に導いてくれたのは、試合中「ウインズ頑張れ！」と黄色い声援を送ってくれた保護者の皆様の力です。そして私も横浜ウインズのキャプテンとして優勝に導かせる役目があります。試合中、惜しくも失点した時泣きそうになったチームメイトに「まだ時間があるから大丈夫だよ、元気だして！」と声をかけると笑顔を取り戻しました。私はこの時少しだけキャプテンとしての役割を果たせたかなと感じました。決勝はPK戦。急遽選ばれたGKが2本も止め大活躍をしてくれました。改めて大会に携わってくれた皆様、本当にありがとうございました。

U12・U10 横浜勢が健闘
県チャンピオンシップ

第45回神奈川県チャンピオンシップ大会（兼関東U12サッカー大会神奈川県予選）が県立スポーツセンターほか、県内各会場で行われ、横浜勢が健闘した。

大会結果

【U12】関東大会出場
（9月6日　高崎市開催）
優勝　川崎フロンターレU12（川崎）
準優勝　東住吉SC（川崎）
3位　JFC FUTURO

第17回神奈川県チャンピオンシップ大会

大会結果

【U10】
優勝　横浜すみれSC
準優勝　JFC FUTURO
3位　FCレガーレ（座間）
3位　中野島FC（川崎）

事業報告など定時総会開く

（一社）横浜サッカー協会は、6月23日に2025年度定時会員総会を行い、①2024年度事業報告②2024年度決算関連について審議、原案通り可決した。

ハーフタイム

6月20日に発生した鹿児島県トカラ列島の地震、今も納まる気配はない。震度5、震度6の地震も発生し島民の避難を余儀なくされている。地震の早い終息を祈る⚽地震は、生命、財産を奪ってしまう。命を守ることが一番大事であるが、今までに築き上げてきた個人の財産はもとより地域で守り続けてきた自然、文化遺産を失うのもつらいことである⚽この欄で紹介したことがあるが私の故郷、輪島市の小さな海辺の町も地震災害を受けた。地震発生直後は、インフラ等、生活基盤の早い復興を願ったが一年半が過ぎ生活も落ち着くと、壊れた神社や町並みに愕然とする。江戸時代から明治時代にかけて北前船で財を成した船主らが住んだ町並み（国の重要伝統的建造物群保存地区に選定）が全壊や半壊となり、復興の目途が立っていないと聞く⚽先日、故郷の友人からクラウドファンディングでお宮の復興に千万円ほど集まったと聞いた。嬉しいことであるがまだまだ足りない。国、行政に対しては文化財の復興にも手厚い補助制度を願いたい。あらゆる自然災害から人、文化財産を守れる国にしてほしい。思い出の文化遺産ではつらい。（T）

齊藤禮二元会長が逝去

齊藤禮二（一社）横浜サッカー協会顧問、元会長は6月13日逝去された。89歳。齊藤禮二氏は、横浜サッカー協会の総務理事から副会長、会長の重責を果たすとともに横浜市体育協会の理事、副会長を務め、サッカーのみならず横浜スポーツの発展に貢献された。1964年（昭和39年）の東京オリンピックのサッカーの一部が横浜・三ツ沢球技場で行われた時は、記録報道の責任者を務めた。

ESTRELA FCが優勝

第60回市長旗ジュニア大会

令和7年度第60回横浜市長旗争奪ジュニアサッカー大会（U15）が6月15日に玄海田公園で決勝戦が行われた。決勝戦はFCヴィアージャ対ESTRELA FCのクラブチーム同士の戦いとなり、本戦も延長戦も熱戦が繰り広げられ0対0で決着がつかずPK戦となった。ESTRELA FCがFCヴィアージャを5対4で下し、初優勝した。

同大会は、年度初めの4月5日より始まり中体連（147校）とクラブチーム（28チーム）がそれぞれ予選を行い、それぞれ8チームずつ本戦出場を決定した。

トーナメント方式の本戦は、中体連代表8校のうち浅野中学校が健闘し一校だけが2回戦まで進んだがエスペランサに2対1と惜しくも敗退した。

【大会結果】
優　勝　ESTRELA FC
準優勝　FCヴィアージャ
第3位　エスペランサSC
SCH FC

決勝の場を楽しむ

キャプテン　根本一会

僕たちの代は、今まで思うような結果が出ず、悔しい思いをしてきましたがそれでも目標に向かって練習を積み重ねたことが今回の結果に繋がったと思います。

決勝戦は、強豪ヴィアージャとの試合でしたが、決勝という場を楽しみながら最後まで気持ちを切らすことなく戦い切れて良かったです。この勝利は、応援をしてくださった保護者の方を含め全員で勝ち獲ったものだと思います。

今回の優勝を自信にし、自分たちの目標である高円宮杯の関東大会出場に向けてチーム一丸となって戦っていきたいと思います。

心に残る大会!!

日韓ジュニアサッカー大会

横浜で開催

横浜市・仁川広域市国際交流事業2025日韓親善ジュニアサッカー大会が7月23日から26日の四日間、横浜市で開催された。

同大会は、2002年の日韓ワールドカップ開催を機に毎年、横浜市と仁川広域市の交互に開催されている交流事業で、少年サッカーマンたちにとっては意義深く、思い出に残る大会となっている。

大会の前日、23日には、新横浜のホテルで両国の役員、選手団を交えて歓迎レセプションが開催された。主催者を代表してあいさつに立った横浜市にぎわいスポーツ文化局の熊坂敏弘スポーツ振興部長は「明日の韓国サッカーを担う選手たちを迎えたことは喜ばしいことです」と、歓迎。「試合の後は、ランドマークタワーなど市内観光も予定されています。横浜を好きになって帰ってください」と、述べた。

大会は24日、25日の二日間にわたり横浜選抜A、横浜選抜Bとの二試合が行われ、猛暑の中での熱戦が繰り広げられた。試合後は、市内観光を行った。

試合結果
〈一日目〉
横浜選抜A　3－2　仁川
横浜選抜B　0－6　仁川
〈二日目〉
横浜選抜A　12－0　横浜選抜B
横浜選抜B　0－5　仁川
横浜選抜A　3－0　仁川

中区選抜が優勝

横浜市区選抜大会（マリノス杯）

第28回横浜市区選抜少年サッカー大会（横浜F・マリノス杯）は、3チーム6ブロックに分けて4月5日予選リーグが市内各会場にて行われた。各ブロック1位チームと全6ブロック2位の上位チーム（勝点・得失点差・得点・抽選の順で決定）が決勝トーナメントに進出。

決勝トーナメントはどの試合も見ごたえのある好ゲーム、毎年レベルが上がっているように思われる。4月6日に平戸永谷グランドで行われた準決勝では2試合共にPK戦に縺れ込む好ゲーム。PK戦を制した中区選抜と青葉区選抜が決勝戦へと駒を進め三位決定戦、決勝戦は4月13日、日産フィールド小机に会場を移して行われた。

【3位決定戦】
神奈川区　3－0　鶴見区選抜

【決勝戦】
中区選抜　1－1　青葉区選抜
4PK2

【大会結果】
優　勝　中区選抜
準優勝　青葉区選抜
3　位　神奈川区選抜
4　位　鶴見区選抜

8/31 決勝 区選抜少女大会（シーガルズ杯）

第9回横浜市区選抜少女サッカー大会（ニッパツ横浜FCシーガルズ杯）は、7月5日、横浜FC東戸塚FPにて予選リーグが4ブロックに分かれ行われた。上位2チームが7月6日、しんよこフットボールパークの順位トーナメントに駒を進めた。トーナメントはどの試合も白熱したゲームだった。

港北区選抜、港南区選抜、青葉区選抜、中・西・磯子選抜（合同）4チームよる決勝戦、3位決定戦が8月31日、ニッパツ三ツ沢球技場にてニッパツ横浜FCシーガルズホームゲーム前座イベントとして行われる予定。

【三位決定戦】
青葉区選抜－中・西・磯子選抜（合同）

【決勝戦】
港南区選抜－港北区選抜

リーグ優勝を表彰

社会人委員会総会

4月19日、関内ホール小ホールで2025年度社会人委員会登録総会が開催された。例年5月の連休明けに行われていたが今年度より早めた。2024年度横浜市民リーグ優勝チームの表彰、各大会のレギュレーションの確認、審判依頼の方法、今年度のリーグ幹事決め、優先利用グランド割り当てを行い、各ブロックの日程が確定された。

2024年度リーグ優勝
1A：かながわクラシコ、1B：WINCHESTER FC、1C：かながわクラブ、2A：FULNELSON、2B：トリハーマ金沢、2C：横浜副都心ALBATZ FC、3A：YTC FC、3B：FC CLARO、3C：横浜エストレージャFC、3D：FC Grandcity法泉

元気いっぱい！スーパーキッズサッカー大会

2025YFAスーパーキッズゲームサッカーフェスティバルGoal52が6月14日、しんよこフットボールパークで行われ、元気いっぱいのちびっ子が参加。このキッズ大会は楽しみながらサッカーの技術向上と心身の健全な育成を目的としてゲーム形式で行われた。

法　人　会　員　一　覧

横浜マリノス㈱
神奈川新聞社
横浜食品開発㈱
㈱横浜シミズ
JFE東日本ジーエス㈱
㈱横浜アーチスト
㈲フリースタイル